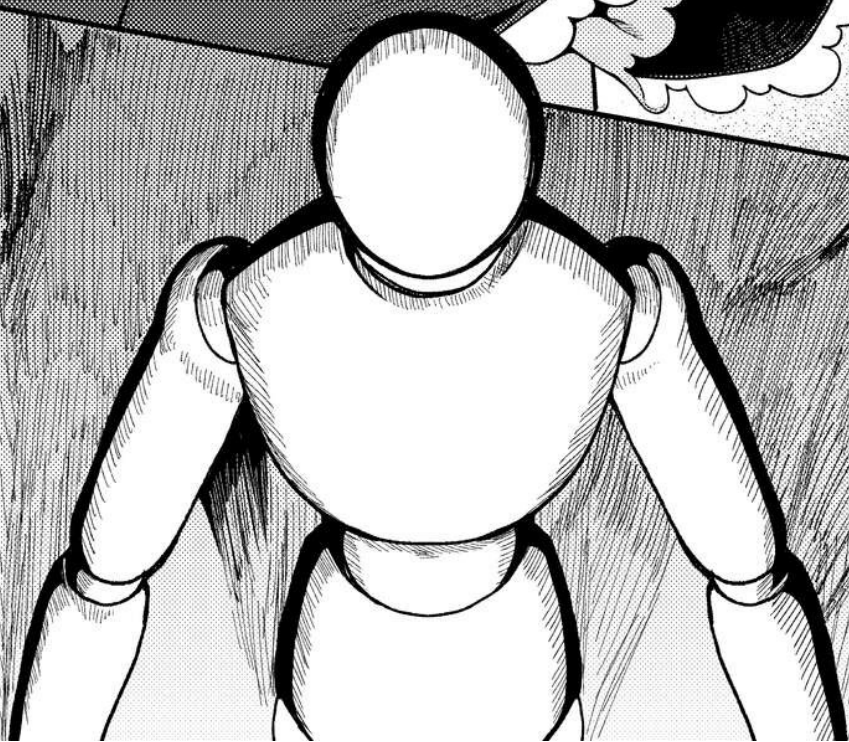


私
が

いちばん

ほ
し
い
も
じ

R18
ADULT ONLY
成人向け



木人形とはいえ
一瞬で消し炭に…

あの子の
炎の扱いは
凄まじいな…

実技も学科も
この学院の
トップクラス

きっと将来
有望な魔術師に
なるだろうな

…

ある日私は
学院の図書館で
1冊の本を見つけた



その本は
見たこともない
文字で綴られて
いたけど

私は何故か
ソレを読むことが
出来た

その内容は
とても甘美で

胸を
高鳴らせた



そして私は



禁術に
手を出した





あなたの
望みは

なあに？

エヴァア？

エヴァア

エ〜ヴァア！

ヤバッ

やっ！

も〜
エヴァアったら
ポーっとして
るんだもん

私にもしっかり
構ってくれなきや
ヤダよ〜

ごめんねバフォ
ちよっと日記を
書いてて…

ふうん？
今日はなにか
あったの？



こんなに
嬉しい事
初めてで…



うん…
私の憧れの
先生にね
最近の私の
成績を褒められ
ちやつて…



それもこれも
バファオのお陰よ



えへへ
よかつた



エヴァが
喜んでくれて
嬉しいなあ



力をあげた
甲斐があるよ



私
立派な魔法使いに
なりたいの





わたし
才能がないから

みんなみたいに
うまく
いなくて…

だから…



可愛い子
♥

あなたに
私の力を
分けてあげる

その代わりに…♥

ふふふ

貴方の精気を
たくさん頂戴？



エヴァはおまめをこうやって…♡

皮の上から触って…♡

腔内なかからおまめの裏側をなでなで♡
されるのが

だあい好きだもんねえ♡

なーんてね♡

エヴァすごい顔♡

もう限界?♡

じゃあ気持ちよくなつちやおつか♡

イかせてあげない♡



今日は
なんだかね♡

ん♡

ちよつと
いじわる
したいの♡

エヴァのこと
どうやって

気持ちよく
しちやおつかな♡

し

す

わ

わ

わ

わ

わ

わ





エヴァ♥
今何をされてる
と思う?♥

わかん
ない...っ♥

なにっ...
これ...♥

こわいっ
...っ♥



一番女の子
のそこを

今ね♥
エヴァのお腹の
ずしつと奥...♥

エヴァが
だあれにも
触られた
事のない

なでなで
してるの♥

やっ

ズキッ

グキッ

びしょ

あ

ズキッ

グキッ

ズキッ







バフオとの
行為は

わたしが
気を失うまで続く

これがほぼ
毎日だから大変
だけど…

その代わり
バフオの力を
貰えるし…

それに…
そんな悪い
気も…



残って資料
読み込んでたら
こんな時間…

はやく
帰らなきゃ

バフオに
心配させちゃうわ

…



先生…

この声…

と…

だれ…？



ええ〜
大丈夫ですよ〜

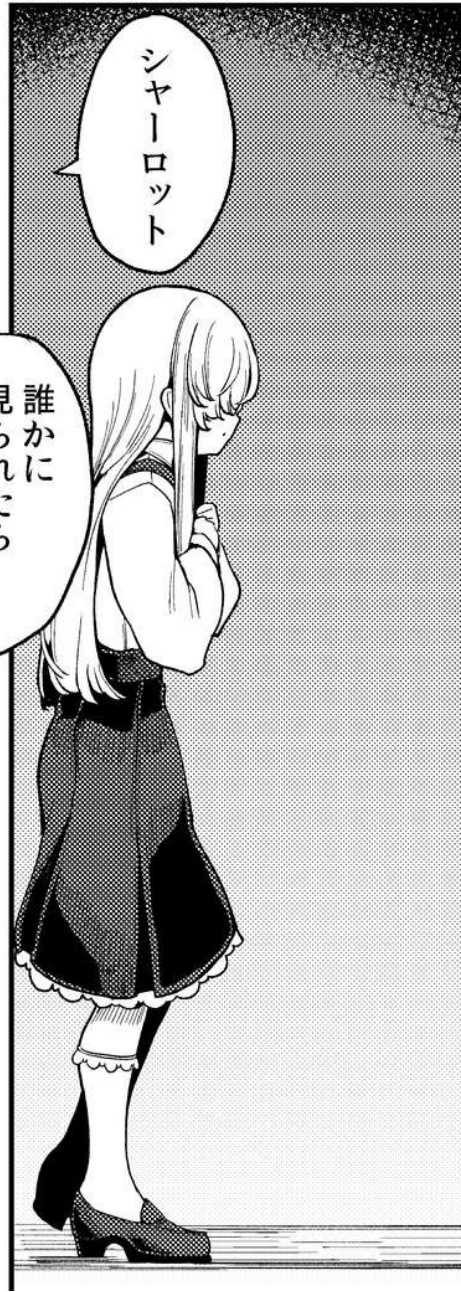
こんな時間に
図書館にいる
生徒なんて

居るわけない
ですから〜

それもそうか



誰かに
見られたら
どうするんだ？



シャーロット



せんせい

せんせい

せんせい

せんせい

せんせい



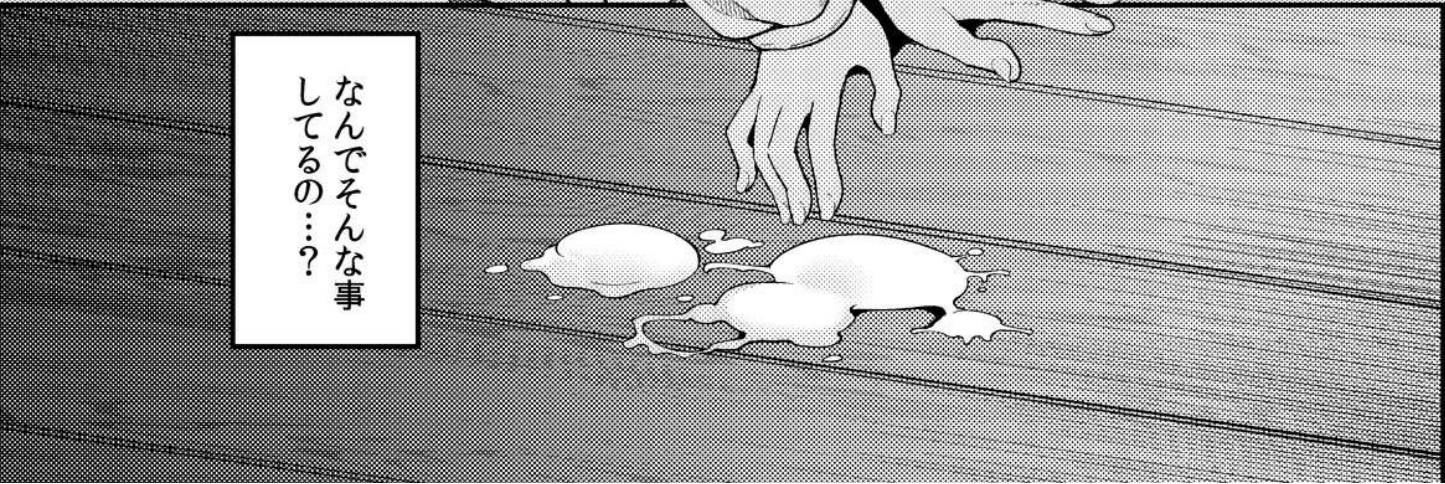
なんで先生…



なんで…



なんでそんな事してるの…?





帰りが遅いから
迎えに来たら…



イヤなもの
みちやったね〜


でも大丈夫
エヴァには私が
いるから

じゃあ教えて
バフオ…




今気持ち
ぐちゃぐちゃで

私…
どうしたら
いいか
全然
わかんないの



私は…

んーと…
じゃあねえ…




エヴァが
自分の願いに
素直なところが
大好きなの

ねえ
エヴァ…

あなたが
本当にほしいモノ
はなに？

エヴァがしたい
ようにするのが
一番だよ


そのために
私の力が
あるんだから



先生はダメな
私にも


みんなと
別け隔てなく

優しく
接してくれた




それが堪らなく
嬉しくて

私は先生が
好きになった



だから
私をもっと魔法も
勉強もできるよう
になれば


先生はもっと
私を見てくれる
んじゃないか…



そしたら
いつか先生と
愛しあえる…


そんな妄想を
してきた

力はその為に
ほしくて
バファオと契約した



だけど

先生は私なんて
見ていなかった



私の事を
見てくれない
先生なら

いらない





あらあら

どうしたの〜？

ねえバフオ…

バフオは
私のこと…

裏切らない
よね？



当たり前だよ

いっっぱい
愛してあげる♡



んふ♡
やっぱエヴァの
身体きれい♡

ちっちゃいけど
ぶっくりとした
おっぱいに♡

ふにふにの
かわいい割れ目♡

エヴァの中
もうあつあつの
とろっとな♡

あつあつ♡

あつあつ♡

あつあつ♡

あつあつ♡

あつあつ♡

あつあつ♡

あつあつ♡

あつあつ♡



はやくおまんこ
いじめられ
たいの? ♡

エヴァったら
腰がびくびく
つて震えてる ♡



もー ♡
可愛いん
だから ♡

じゃあ
いっつぱい ♡

えっち ♡
しょうね ♡



エヴァのお顔
とろとろだあ♡

前はあんなに
怖がってたのに♡



女の子の
大事な赤ちゃんの
お部屋…♡



触手さんで
くちゅくちゅ
つて♡

いっぱい
かき回されるの
気に入っちゃった？♡

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



それとお♡

この寂しそうに
ピンってしてる
エヴァのおっぱい♡



一緒に
気持ちよく
なろうね♡



あーあー♡

ブルブル

カッ





パフオに
触られるたびに
心が満たされて...♡

今とても
しあわせ...♡

あんなに
ぐちゃぐちゃだった
気持ちが嘘みたい...



エヴァ...♡

ほんとに
かわいい...♡

エヴァに
嫌われちゃう
かもって

我慢して
たけど



もう無理♡

ん...

まぎ...



これで
しちやうと

あ

やさしく
出来なく
なつちやうから♡

ん
ん
ん

は

パフオに…
なんで
男の人の…？

でも…

先生のよりも
おつきくて…

だけど本当に
嫌だったら
やめるから

今のうちに
言って
ほしいな…♡

すっ…♡

は…

パフオ…♡

あ…

あ…

あ…



エヴァから
求められる
なんて♡

ほい

私
とっても
うれしいよ♡

ほあ

ごめんね♡

もう加減なんて
できない♡

のい

おっ

めい



エヴァの
おまんこ
ちっちゃくて♡

先っぽしか
挿入らない
けど...♡

しっかり私の
おちんちんに
絡みついできて

とつても
きもちいいよ♡

お顔
とろとろだし
きもちいいよね♡

エヴァも
きもちいい?♡

いっしょに♡
いっしょに♡
いっしょに♡

いっしょに♡
いっしょに♡



私
今とつても
しあわせだよ…♡

ありがとう
バファオ…♡





力をもらって
私がほしかった
モノ：

立派な
魔法使いになる
ためでも

ましてや
先生でもない

きっとバフオは
わかってたんだ



私が
いちばん…♡

ほしいモノは…♡



エヴァ
大丈夫？

う…っ



無理
しないでね？

ううん
大丈夫だよ
バフオ

私
まだまだ
頑張れる



いっぱい
命を集めれば

貴方とこの子が
悦んでくれるん
だもの


だから
パフォ…
この手を
放さないでね

放すわけ
ないじゃない

うん
放さないよ

だってこんな
都合のいい眷属

他に
いないもの♡



この度は当サークルの作品を手にとりいただきありがとうございます！
切切枚のゑぬです。

今作は楽しめていただけたでしょうか？
漫画を描きはじめてもう同人で12作、商業で12作ほどになります。
大分漫画の描き方も板についでき、作画も安定してきて成長を感じますね…。
これからも皆さんに楽しんでいただけるような作品を
描いていきたいと思っておりますのでどうか今後ともよろしくお願いします！

只今締め切り当日3時間前です。
正直、今回原稿の進みが悪くてもしかしたら新刊を落としてしまうかも…
などという不安と戦いながら毎日作業をしておりました。
執筆期間は約2ヶ月と10日ほど。
ほぼ毎日作業通話に付き合ってもらった友人2人には感謝です。
特に表紙はスケジュール的に3日で仕上げる必要があったのですが
構図で沼にハマってしまい脳が疲れ切っておりました。
しかし友人に助言をしてもらい良い感じにまとめられました。
結果的に過去一雰囲気のあるものが描けたのではないかと感じております。

さて次回は5月のコミティアを予定しております。
正直新刊を用意できるか全く自信がありません。
なにかコピー本でも作れば良いなあ…。



私が
いちばん
ほしいモノ

発行日2023/12/31

発行：切切枚

印刷：栄光 様

mail : kirikirimai1222@gmail.com

Twitter : enunenune1234

Fantia



pixivFANBOX



X(Twitter)





七七枚

キ/キ/マ/イ